

平成 29 年度 事業計画

静岡県私学協会

平成 29 年度の事業計画は、加盟校相互の連携と協力によって、次の事業を重点に行う

1. 各校の学則定員を募集定員とし、この定員を遵守する。
2. 公私立高校の入試について
 - ・ 私立高校間は、次のとり決めを継続する。
 - ① 各校が定めた募集定員の遵守に努めること。なお、万一募集定員を超過する場合においても、学則定員+30名以内となるよう配慮すること。
 - ② 定員を満たすことが出来ない学校は原則として再募集を実施する。
 - ③ 私立高校入学試験を事情により受験できなかった生徒のため、学校ごとに追試験を行う。なお、インフルエンザの罹患者は中学校長の証明で代用することができる。
3. 公私立別生徒受け入れ方法について県教委と検討する。
私立高校の入試制度と日程について検討する。
4. 静岡県議会私学振興議員連盟といっしょになって、私立小・中・高等学校の学校経営の健全化に向けて協議する。
5. 私学三団体と保護者会が連携した私学振興ふじのくに大会を開催する。

[1] 私学振興予算対策

- (1) 国に対する私学振興の予算対策
 - ・ 日本私立中学高等学校連合会の活動に対する協力
 - ・ 本県出身の国会議員に対する予算の陳情
- (2) 県に対する私学振興の予算対策
 - ・ 平成 30 年度 私学振興予算対策
 - ・ 県及び県議会私学振興議員連盟に対する予算陳情と意見交換会の開催
- (3) 市町に対する私学振興対策
 - ・ 私学振興予算対策

[2] 私立小・中・高等学校振興対策

- (1) 小学校振興対策
 - ・ 小学校振興対策委員会の開催
 - ・ 日本私立小学校連合会との連携
- (2) 中学校振興対策
 - ・ 私立中学校長部会の開催
 - ・ 生徒募集対策
 - ・ 公立小学校長と私立中学校長との連絡会の開催
- (3) 高等学校振興対策
 - ・ 生徒募集対策
 - ・ 静岡県公私立高等学校協議会、同連絡会・同連絡部会への対応
 - ・ 高等学校の収容のあり方への対応
 - ・ 学則定員での生徒募集
- (4) 私学振興ふじのくに大会
静岡県私学に学ぶ児童生徒の保護者、教職員の総力を結集して大会を 11 月 8 日(水)に開

催し、県、並びに県議会各会派へ陳情を行う

[3] 広報事業

- (1) 広報委員会の開催
- (2) 私学教育に関する刊行物の作成配布
- (3) 「静岡県の私立学校」の刊行
- (4) 私立中学・高等学校による紙面授業の実施
- (5) 新聞による入試広報
- (6) インターネットによる私学情報の提供
- (7) 3地区・合同学校相談会の開催

[4] 私学教職員・児童・生徒の表彰

- (1) 勲章、褒章、大臣表彰等候補者の推薦
- (2) 県知事表彰等候補者の推薦
- (3) 表彰規程に基づく表彰
 - ・ 奨励賞
 - ア 永年勤続教職員表彰
 - 20年 静岡県私学教育振興会 理事長 表彰
 - 30年 日本私立中学高等学校連合会 会長 表彰
 - 35年以上 静岡県私学教育振興会 理事長 表彰
 - イ 文化・体育表彰
 - ウ 優秀教員表彰
 - エ 生徒・児童の一般表彰
 - オ 福祉や奉仕活動の表彰
 - ・ 善行賞
 - ア 福祉や地域社会の奉仕活動の表彰
 - イ 人命救助・災害防止等の表彰

[5] 生徒指導対策

- (1) 生徒問題研究委員会の開催
 - ・ 私学教育振興会 生徒指導専門部会や、県教委に設置のいじめ問題対策連絡協議会と連携して、青少年健全育成、非行防止対策、不登校対策等の諸問題究明と指導を図る
 - ・ 静岡県が実施する「私立学校ネットパトロール推進事業」(仮称)への協力
- (2) 交通安全対策

[6] 私立小・中・高等学校地震防災対策

- (1) 地震防災総合訓練等の実施
(国・県・市町村・自主防災組織等に協力して、学校毎に実施する)
- (2) 児童・生徒に対する地震防災知識の普及

[7] 私学教職員・生徒等の福利厚生事業

- (1) (一財)静岡県教職員互助組合に協力
- (2) 私学教員、児童・生徒等に対する慶弔・見舞金の給付
- (3) 私立学校振興・共済事業団への協力

慶 弔

区 分	教 職 員	児 童・生 徒
結 婚	祝 金 3,000 円	
病 気	見舞金 3,000 円	
死 亡	弔意金 5,000 円 (私学協会長の生花・弔電)	弔意金 3,000 円 (私学協会長の弔電)

災害見舞

区 分	教 職 員	児 童・生 徒	
火 災	全 焼	見舞金 10,000 円	見舞金 7,000 円
	半 焼	〃 5,000 円	〃 5,000 円
水 害	全 壊	〃 10,000 円	〃 7,000 円
	半 壊	〃 7,000 円	〃 5,000 円
	床上浸水	〃 5,000 円	〃 3,000 円

[8] 私学教員志願者の紹介

- (1) 広く優秀な人材を確保するため、教員適性検査を実施する

期 日 平成 29 年 8 月 27 日 (日)

会 場 静岡女子高等学校

- (2) 履歴書委託制度の充実

[9] 学校保険の合同加入契約

- (1) 賠償責任保険

損害保険ジャパン日本興亜株式会社と団体契約を提携して、学校諸施設の欠陥、整備上のミス等により学校管理下における児童・生徒または第三者の人身事故が発生した場合、保険金を支払う制度である

なお、平成 29 年度の掛金は児童・生徒一人当たり 77 円で、保険期間は平成 29 年 4 月 1 日午後 4 時より平成 30 年 4 月 1 日午後 4 時までである

区 分	限度額(1 事故)	限度額(1 名)	自己負担額
身体	6 億円	1 億 3,000 万円	1,000 円
財物	200 万円	—	1,000 円

- (2) 私立高等学校受験生の傷害保険合同加入

私立高等学校を志願する受験生に対して、これを取りまとめた傷害保険契約を行ってきたが、中学校側から一日体験入学の実施日も傷害保険の加入を求められていることから、平成 29 年度より各私立高校ごとに対応して加入するよう推奨する。

[10] 私立中学・高校生による料理レシピアイデアコンテスト、同昼食会の開催

教員部会が中心となって、平成 29 年 11 月 8 日(水)に中学・高校生料理レシピアイデアコンテストの優秀作品による昼食会と、同日に私学振興ふじのくに大会を開催する

[11] 本会創立 70 周年、県私学教育振興会創立 60 周年事業の実施

- (1) 記念式典および祝賀会の開催

日にち 平成 29 年 9 月 20 日(水)

会 場 ホテルセンチュリー静岡

- (2) 記念史の刊行
両団体の歴史と記録をまとめる
- (3) 新聞等による私学広報事業
- (4) J I C A と連携しモンゴルへ教職員を派遣する

[12] 国際交流事業への対応

静岡県・浙江省友好提携 35 周年の県が主催する記念事業に協力する

[13] 平成 31 年度実施の「中部地区私学教育研修会静岡県大会」の準備

平成 31 年度に行う静岡県大会について準備する

[14] 県内関係諸機関・団体との連携

私学の振興に資するため、関係諸団体と連携を図る

[15] 中央私学団体との連携

- ・ 日本私立中学高等学校連合会
- ・ (一財)日本私学教育研究所
- ・ 日本私立小学校連合会
- ・ 全国私立学校審議会連合会
- ・ (一財)私学研修福祉会
- ・ 日本私立学校振興・共済事業団
- ・ 全国高等学校長協会
- ・ 全国普通科高等学校長協会

[16] 県外私学との各種連携

- (1) 各県の私学振興方策の情報・資料の交換
- (2) 県外私学関係者の本県視察調査等について協力